

第1回ワークショップの結果概要

1 計画検討やワークショップの進め方について

1) 地域別実行計画の考え方や検討の進め方

●公共施設再編の必要性

- 将来的な人口減少は、何も取り組まなかった場合の数値だろう。人口減少に伴い、ただ公共施設を減らすという議論だけではなく、人口減少にどのような対策を講じるかなどについても議論していきたい。
- 将来的な人口減少から将来の子どもたちの負担を考えると、施設を整理する必要はあると思った。利用率の低い公共施設は集約化や廃止を検討して良いと思う。

●検討の進め方

- 山田地域にとって必要不可欠な機能を持った公共施設はどこかを選び、統廃合のあり方も含めてその施設をどのような形で残すことが望ましいのかを検討していく必要がある。
- 富山市に公共施設を維持する費用がないことは理解できた。少しでも維持費を減らす方向にしたい。そのためには、山田地域の公共施設ごとの利用率と維持費を年間で把握した上で、公共施設の必要性や維持費の負担を減らすにはどうするべきかを検討できると良いのではないかな。
- 平野部と山田のような中山間地域の公共施設の管理コストを比較すればどうしても中山間地域の方が費用対効果が低いと思う。富山市全域で一律に比較できない部分があるということを念頭に置いて議論していきたい。
- どの公共施設を集約化・複合化するかは、各施設の老朽具合や耐震性を確認しながら検討していきたい。さらに言えば、そのような公共施設のあり方についてのみを検討するのではなく、各施設の空きスペースの利活用のあり方も検討していきたい。
- 流入人口や観光客を増やすことをめざして旧山田村時代はまちづくりを

進めていた。そのため、観光に特化した地域づくりで活性化をはかろうと、スキー場周辺に観光施設を集中して一体的に運営をしていた。今はその施設の運営主体が施設ごとに異なるために、運営上の課題もあるようだが、そういった背景や事情があることを踏まえて、公共施設のあり方を検討していきたい。

- もっと若い層にまちづくりについての意見が聞き取れるよう、アンケート調査等を実施してほしい。

2) ワークショップの進め方

- 数年前に山田地域の宿泊施設は閉鎖するということになり、反対署名をもって富山市を訪ねたことがある。結果的に牛岳温泉健康センターを残すこととなったが、そのような経験があるので、市に意見を出しても反映されるのかと疑問である。
- 今回のワークショップがどのような方向性の結論となるのかが気になるし、ワークショップの効果についても示していければ良いと思っている。
- 時間内ですべての施設について検討することができるのだろうか。グループごとに施設を分担して検討していくということはないのか。
- 時代や状況に合わせて、リモートでのワークショップが開催されるのはありがたいことである。

2 地区のまちづくりや公共施設について

1) まちづくりの現状と課題

■ 人口問題・定住・移住

- 人口減少や高齢化は進んでいて厳しい状況であるが、住民間で協力をし合いながら対策を練っていききたい。
- 人口減少が進むなかで、どうやったら自分たちの子ども世代をはじめとした若者たちが住み続けることができるのか、移り住んでくれるのか、その世代の意見や視点を参考にしながら公共施設のあり方を検討し、まちづくりの方向性を考えていききたい。
- 人口減少が進み田畑の維持が難しくなると思うが、循環型農業や都市型農業ができる環境をつくり、空き家活用等をして移住できるようにすれば、農業に関心のある人は移住に関心を示すと思う。
- 地域外から山田地域に移住したいという人がいても家を建てる土地がないと思う。新たに住んでくれる人を受け入れられる環境をつくりたい。

■ まちづくりの方向性・特色あるまちづくり

- コンパクトシティの考え方は理解しているが、人口減少しても山田地域を守っていききたい。さらに言えば、地域の繋がりや顔が見える関係づくりを大切にしながら地域づくりに取り組んでいききたいが、一方で時代に合わせたリモートやオンラインの活用も必要になってくるだろう。うまくバランスをとりながらまちづくりを進めていききたい。
- 自然環境の維持や再生可能エネルギーの活用、UI ターンの推進などを検討しながら、40年後の山田地域をどのような地域にしたいのかといったまちづくりの方向性を考えていく必要がある。
- 温泉を活かし、魚の養殖などを行うことで、地域ブランドを創出するようなまちづくりができると面白いと思う。

■ 防災

- ハザードマップを参考に、危険性が高いところはできるだけ住居や施設を配置しないようにまちづくりを進めてほしい。
- 近年各地で震災や豪雨が発生していることを考えると、山田地域は土砂災害警戒区域に多くのエリアで指定されていることからわかるように、山田公民館も避難所として安全とは言えず、川もあるためにアクセス面でも危険である。施設としての安全性とアクセスの確保もしっかり考えた上で、どこを避難所にするべきか検討していく必要がある。
- 富山市が第1次避難所指定している交流促進センターや総合体育センター、また、地区ごとで避難所として位置付けている公民館も、川の氾濫や土砂崩れ等の危険性が高く、避難所としての課題があり不安である。
- 避難方法のあり方を考えたい。避難所にどうしても行かなくてはいけないということではなく、安全な別のところでも臨機応変に対応できるようになると良い。地域の危険な場所を知るということも大切になってくる。
- 新型コロナウイルス感染症のことも考え、避難所は複数の場所で機能できるようにしておきたい。

■ 交通アクセス

- 山田地域が実は富山地域をはじめ近隣のまちへのアクセスが良いと山田地域に来てから初めてわかった。他の地域の人にはアクセスの良さを知らないのだと思う。
- オペレーターが高齢化していることから、山田地域の温泉やスキー場までの道路の除雪が芳しくないという課題がある。どのように除雪体制を維持し、冬場のアクセスを確保するのか考えていきたい。

2) 公共施設の現状と課題

■ 公共施設全般

● 残してほしい施設・あると良い施設

- 子どもたちが大人になったときにあって良かったと思える施設を残したい。山田地域は小学校、中学校、保育所と住民が地域全体で運動会を実施するところなので、皆が一緒に使える複合施設が一つあると良いと思う。
- 公共施設が様々な場所に点在していて利用しにくい。災害時に水害等で危険性が低い総合体育センター周辺に様々な機能を持った複合施設を整備してはどうか。一つにまとめることでコスト削減にもつながると思う。
- 南砺市利賀行政センターには、様々な機能が1つの場所に揃っている。山田地域の公共施設も場所を集約したり、施設を複合化するなどできるのであれば、そのような利便性の良い使い方が出来たらよい。
- 新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点も視野にいれながら、時代に沿った複合施設を作っていければ良い。

● 利用率

- 市は施設の維持管理についても、指定管理で民間に委託する施設が増えてきているが、今後は採算が合わなくなってくるのが課題になるだろう。
- 市は、利用率が低いと不要だと判断してしまうが、地域が必要だと判断する施設については市にも協力してもらったり、他地域から利用をしてもらうことを考えた方が良い。地域内だけで利用率をあげようとしても限界がある。他地域の取組みを参考にしたい。
- 人口減少に伴い、機能が重複している施設は集約し、空きスペースは有効活用することで各施設の利用率をあげていきたい。

●集会施設

- 山田交流促進センターはエレベーターがなく、高齢の方などには利用しづらい建物である。
- 山田公民館は会議等でよく利用されているため、利用率は良い。
- 山田公民館で秋に開催している子どもたちの発表会などは、学校の体育館でできるので老朽化の時期にあわせて廃止することを検討しても良いと思う。
- 新たな複合施設を建てるのが理想ではあるが、市の財政上難しいと思うので、既存施設で不要なものを整理した上で、山田公民館を行政機能や他の機能をあわせた多世代利用可能な複合施設とすることが現実的だと思う。

■ スポーツ施設

- 山田地域の方は利用料が無料の学校開放を利用している。人口 1 人あたりの公共建築物保有面積が山田地域は最も多いとのことだが、総合体育センターに関しては他施設とは少し考え方が違うのではないかと。
- 利用率を上げるのであればPRをするなどして他地域の人たちに使ってもらえるような工夫をすることが大事である。
- 山田総合グラウンドは、いつでも空いているが遠いと言われるので、利用料金を安くするなどして遠くでも利用したくなるようなメリットをつくることで利用率を上げるのが良いのではないかと。

■ レクリエーション・観光施設

- 山田地域は、レクリエーション施設や観光施設が多くあることが特徴である。外部の方をはじめ、より多くの方々に利用していただけるような方策を検討することが必要である。市内の小・中学校に学校の授業で利用してもらえるような働きかけをしても良いのではないかと。
- 牛岳温泉スキー場は、運営面を改善するためにも、冬だけでなく夏場の利

用を検討した方が良い。サマースキーや大学の合宿場所として誘致するなど、スキー場を核として観光客等呼び込むことで収益を生み出す方を考えれば、宿泊施設など他の観光施設にも良い影響を生み出せるだろう。

- 牛岳温泉スキー場は、市街地からも近く利用しやすい。最近はや暖冬の年も多いので、人工造雪多目的施設があることは、本スキー場の強みである。人工造雪多目的施設をうまく使えば子どもたちの楽しみや地域の活性化に繋がると思う。
- 牛岳温泉健康センターとふれあいの里ささみねは隣接していることもあり一体的に利用したいが、連携がとれていないようだ。それぞれの施設の運営が別組織のせい、地域の活性化につながるような運営がされていない。民間企業に一体的に運営をしてもらうのが良い。
- 森のコテージ木 MAMA はキャンプ施設だが、民泊にしたり、市民に売却するなどして、もっと利用されるための方法を考えてはどうか。また、山田地域には農地もたくさんあるので、森のコテージ木 MAMA などの既存施設を拠点に、温泉施設と農業施設を連携させた農泊事業とテレワークを結びつけた施設利用のあり方など、関係人口を増やすための方策を検討するのも良いのではないか。
- アスレチックなど、子どもを連れて遊びに行けるような場所がほしい。

■ 学校・保育所・幼児児童施設

●学校

- 学校は地域住民が愛着を感じている施設であるし、山田地域に一つの小学校、中学校、保育所があって地域が成り立つと思っている。子どもが地域からいなくなると人口減少が進み、地域の活力がなくなってしまう。学校は残してほしい。
- 少子化が進み、年々、小・中学校の児童・生徒数が減少している。他地域の学校は、大人数で切磋琢磨しながら学校生活を送っている中、少人数の学校生活は果たして子どもたちのためになるのか、という思いはある。
- 昔から学校は地域の核になってきた。セキュリティ面の対策を練りながらも、地域住民も学校を利用でき、交流を図れるような使い方を検討してほしい。
- 山田地域の学校に地域外から通学している子どもがいる。潜在的に山田地域の学校に通いたいと思う子どもや、通わせても良いと考える親が他地域にはいるのではないか。
- 小規模校入学特別認可制度を導入したり、山田地域として教育に特色を持たせることで、他地域から山田地域の学校に通学させたいと思ってもらえるような特色をつくっていききたい。
- 今後は、時代に合わせたオンライン教育等も考える必要があるのではないか。

●保育所

- 保育所も老朽化が進み、園児の人数が減少し、存続が危ぶまれているが、山田地域の将来に関わることであるので議論を深めていきたい。

●児童館・子育て施設

- 児童館など子どもたちが利用している施設にも空き部屋があるので、福祉施設が利用できるようにして単身の高齢者等と子どもたちが交流できる

ようにするのはどうか。さらに言えば、子どもたちが利用する施設と福祉・介護施設を複合化するのも良いと思う。

■ 庁舎等

- 山田中核型地区センターと公民館を複合化したとしても、空き部屋がたくさん出るだろう。新たに適正規模の新しい施設を作ることはできないか。1階は行政機能、2階はコミュニティ機能というのが良いと思う。
- 山田中核型地区センターは老朽化しており、耐震性も心配である。また、災害時に川が氾濫するなどして、防災無線等の通信機器が使用できなくなる可能性もある。今回の取組みを機に、災害時に機能する安全な場所に配置するよう検討するべきである。
- 中核型地区センターは老朽化しているため、農協や郵便局等の民間施設も含めて山田公民館に複合化し、維持管理の効率化をはかり、地域の核となる施設にしていきたい。地区センターは駐車スペースがないのでそういった視点でも利用しやすくなるのではないか。
- 山田公民館の方が新しく周辺は地滑り対策も進んでいるため、山田中核型地区センターは公民館に機能移転するのが良いと思う。その際、災害時に川が氾濫しても機能するように、2、3階に行政機能を維持できるように現在のすべての機能を持たせるなどの対策を講じてほしい。
- 中核型地区センターは昔の役場なので、旧山田村時代の資料があるはずである。公民館と一緒になるとしたら、保管場所を確保するのが難しくなるのではないか。

■ 公営住宅（市営住宅）

- 市営住宅の一戸建ては良い物件があるのにも関わらず、空き家もあるので、入居されない理由は調べた方が良い。その上で、必要に応じて売却や他の活用方法も検討してはどうか。
- 市営住宅の空き部屋は、外からの移住者に住んでもらえば良い。

3 その他

■ 質問など

- 過疎対策事業債がどのように使われているのか知りたい。
- 各施設の稼働率と一人あたりのコストの出し方が良く分からない。
- 資料 1 の小学校の写真に児童館の写真が使われているのではないか。
- 施設概要（参考資料）のなかに利用者 1 人あたりのコストがあるが、ここに書いてある費用は、公民館の場合は、公民館で関わる電気、水道料金、職員の人件費、臨時職員の費用を利用者数で割った数字なのか。
- 施設概要（参考資料）で 1 人あたりのコストの欄とコストの欄がある。違いはあるのか。指標が揃っていないので比較しづらい。

■ その他

- 山田公民館と牛岳温泉健康センター以外の施設をあまり使ったことがなく良く分からないので、なかなか意見が言えない。